

社会資本総合整備計画（第2期植木中央地区中心市街地のにぎわいの再生） 事後評価書

計画の名称	第2期植木中央地区中心市街地のにぎわいの再生			
計画の期間	平成26年度～平成30年度	交付対象	熊本市	
計画の目標				

- 大目標 北区植木町の「顔」となる地区として、シンボル性の高い魅力的でかつ安全・快適な都市空間を創造するまちづくり
- ・小目標1 快適で住み良い市街地空間の形成を図り、中心市街地再生の先導を果たす
  - ・小目標2 都市基盤施設の整備改善による快適性・利便性及び防災性の向上を図る
  - ・小目標3 まちなかへ人々が集い、にぎわいの再生を目指す

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民アンケートによる住環境の満足度を「3」から「4」へ1段階アップ</li> <li>・植木中央土地区画整理事業施行地区内の人口の増加</li> <li>・植木中央地区の歩行者等通行量の増加</li> </ul>			
----------------	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 ( 末)	最終目標値 (H30末)	
① 地域住民を対象に満足度を5段階で示すアンケートを実施する。	3		4	歩行者通行量の現況値はH26 その他の指標の当初現況値はH28
② 住民基本台帳を基に植木中央土地区画整理事業施行地区内の人口を算出する。	521		650	
③ 植木中央地区の平日及び休日の歩行者等通行量を計測する。	2,084		2,350	
その他 1人あたりの都市公園面積を計測する。	6		7	

全体事業費	合計 (A+B+C)	3,748百万円	A	3,748百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
熊本市公共事業評価監視委員会による審議	令和元年10月
	公表の方法
	熊本市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A 基幹事業																
事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
街路	一般	熊本市	直接	熊本市			植木中央地区（（都）中央線外）	土地区画整理事業 A=17.5ha	熊本市						841.0	
都市再生	一般	熊本市	直/間	熊本市、民間			第3期植木中央地区 都市再生整備計画事業	公園、地域生活基盤施設、土地区画整理事業（街路、都再区画）、地域創造支援事業（土地区画整理事業、街なか居住・街並み形成推進事業）、事業活用調査	熊本市						2,787.3	

都再区画	一般	熊本市	直接	熊本市			植木中央地区都市再生区画整理事業	都市再生区画整理事業 A=17.5ha	熊本市						120.0	
														合計	3,748	

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
														合計		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
														合計	0.0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				
	指標①	最終目標値	4	目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	4.2	
	指標②	最終目標値	650	目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	561	

土地区画整理事業の進展によって、地区外への移転が進み、一時は476人まで減少した後、土地区画整理事業の進捗とともに、増加に転じている。宅地の使用収益が開始されているものの、区画整理による移転後に住居の再建をされない権利者や駐車場などの用途の変更をされた権利者、いまだに未利用地となっている宅地が当初の想定よりも多かったため、増加幅が少なかったものと考えられる。

II 定量的指標の達成状況	指標③	最終目標値	2,350	目標値と実績値に差が出た要因	従前値の調査以降、減少が続いていたが、地区内の人口や建物が増加していることもあり、直近では増加傾向にある。しかし、現時点では熊本地震の影響等により、植木中央土地区画整理事業・植木中央公園の整備が当初の想定よりも遅延したことで、増加幅が少なかったものと考えられる。	
		最終実績値	1,656			
	その他の指標	最終目標値	7	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	7			
			最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
			最終実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	本計画で整備した公園や公開空地を活用して、熊本市植木町商工会によるイルミネーションの設置やフリーマーケットが開催されるなど、地元のまちづくりに対する気運は高まっている。
--	--

3. 特記事項 (今後の方針等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・植木中央土地区画整理事業は、令和3年度の換地処分に向け事業に取り組む。</li> <li>・公園など事業により整備された都市基盤施設を活かし、官民協働による清掃活動などを推進するとともに、新規住民を巻き込んだ地域コミュニティづくりへの支援を図る。</li> <li>・住民が住みよい地域をつくることにより居住人口を確保するとともに、整備された公園でのイベント開催などにより、交流人口の増加を目指す。</li> </ul>

(参考図面)

